



農地情報

平成19年8月2日
発行・編集 新潟県農地部
号 外

農地の崩壊(柏崎市西長島地内)



新潟県中越沖地震発生

平成19年7月16日10時13分、新潟県上中越沖を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生。柏崎市、刈羽村などでは震度6強を観測した。
その後15時37分には、マグニチュード5.8、震度6弱を観測した最大余震が発生した。
3年前の10.23中越大震災の復興が着々と進んでいた中越地域を、再び大地震が襲った。



柏崎市内の被災状況



地震直後の柏崎地域振興局内



新潟県中越沖地震 各地の被災状況



旧高柳町 農地の崩壊



刈羽村 ため池堤体の亀裂



柏崎市
ゲート門柱の破損



出雲崎町 集落排水マンホール浮上



旧西山町
地すべり防止区域内の人家裏に亀裂
ビニールシートにより仮応急対策



旧柿崎町
赤川排水路斜面崩壊に伴う仮復
旧工事

新潟県中越沖地震被害の特徴

この度の地震被害は、震源に近い柏崎市及び刈羽村、出雲崎町などの海岸部に集中しています。また、石川県の能登沖地震と同様に、家屋の被災や倒壊が非常に多く見られます。

農村振興局関係の被害では、農業集落排水施設の配水管の被害が大きく、柏崎市の農業集落排水施設の被害は、中越大震災の同市の集落排水施設被害を上回る見込みとなっています。

また、農地・農業用施設では、ため池やパイプラインなど、用水施設の被害が大きかったことが特徴の一つとして挙げられます。

今後は出穂期を向かえ、用水確保が非常に重要な課題となります。被災したため池の応急対策やパイプラインの通水試験等を早期に実施し、必要な用水の供給に対応できるよう対策を講じています。

新潟県中越沖地震発生後の主な動き・応援体制

- 7/16
 - ・ 10:13 地震発生（震度6強、マグニチュード6.8）
 - ・ 新潟県災害対策本部設置
 - ・ 15:37 最大余震発生（震度6弱、マグニチュード5.8）
 - ・ 農地管理課、農地計画課から計4名、現地調査のため職員を派遣（～17日）
- 7/17
 - ・ 農村環境課から2名、現地調査等のため被災振興局へ職員を派遣（～28日）
- 7/19
 - ・ 小林農地部長、農村環境課長現地調査
 - ・ 上越、魚沼、糸魚川地域振興局からパイプライン通水試験運転等のため、柏崎地域振興局へ技術職員4名派遣（～27日）
 - ・ 中越沖地震に関する営農相談窓口を開設（長岡、柏崎、上越振興局農村計画課）
 - ・ 地域資源循環技術センターが集落排水施設の被災状況調査開始（～20日）
 - ・ NPO法人にいがた水土里支援センターがため池調査500箇所（～22日）
- 7/20
 - ・ 新潟、巻、三条、十日町、上越地域振興局から被害額算定のため、柏崎地域振興局へ技術職員10名派遣（7/20）
- 7/21
 - ・ 長岡、佐渡地域振興局から被害調査のため、柏崎地域振興局へ技術職員2名派遣
 - ・ (社)農業農村工学会が調査団派遣（～7/22）（～24日）
- 7/22
 - ・ 被災した農業用ため池及び地すべり防止区域について専門家に点検調査を要請（ため池35箇所、地すべり防止区域5箇所）（7/23～7/27）
 - 農村工学研究所、農林水産省農村振興局、北陸農政局、新潟大学農学部
- 7/24
 - ・ 泉田知事が国へ財政支援など要請（東京都 首相官邸等）
 - ・ 国営ダム技術検討委員会によるダム現場技術支援（国営後谷ダム、栃ヶ原ダム）
- 7/25
 - ・ 小林農地部長が国へ被害状況報告及び支援要請（農林水産省）
 - ・ 新発田、新津、南魚沼地域振興局からパイプライン通水試験運転のため、柏崎地域振興局へ技術職員10名派遣（7/25）
- 7/26
 - ・ 鈴木技監が国へ被害報告及び支援要請（北陸農政局）
- 7/30
 - ・ 県内各地域振興局から査定設計書作成のため、柏崎地域振興局へ技術職員を派遣 4名×9班体制（～8/3）

今後の予定

8/20頃から災害査定。順次、工事発注、復旧工事に着手



査定設計書作成の応援隊

新潟県中越沖地震の被災による 農業用水の復旧状況

農業用水の復旧状況

7月16日の地震により、多くの農業用水供給施設が被災を受けました。ため池や取水施設、パイプラインはいたるところで被災が確認され、農地への用水供給に支障を来しています。

被災振興局では、地震直後の現地調査を経て間もなく、各地域振興局や関係機関の応援を受けながら、揚水機場やパイプラインの通水試験・復旧工事などを行っています。これからの出穂期の用水確保に備えて、復旧へ向けた着実な取り組みが行われています。



被災による農業用水の影響面積

平成19年8月1日調査

| 地域振興局名 | 市町村名 | 総水田面積 ① | 被災直後、耕作に影響があった面積 ② | 影響割合 ②/① | 復旧面積 ③ | 復旧割合 ③/② |
|--------|------|------------|-----------------------|-------------|-----------|-------------|
| 柏崎 | 柏崎市 | 4,580 ha | 1,253 ha | 27% | 1,128 ha | 90% |
| | 刈羽村 | 577 ha | 550 ha | 95% | 269 ha | 49% |
| 小計 | | 5,157 ha | 1,803 ha | 35% | 1,397 ha | 77% |
| 長岡 | 長岡市 | 16,000 ha | 50 ha | 0% | 50 ha | 100% |
| | 小千谷市 | 2,500 ha | 81 ha | 3% | 81 ha | 100% |
| | 出雲崎町 | 461 ha | 50 ha | 11% | 47 ha | 94% |
| | 川口町 | 440 ha | 33 ha | 8% | 33 ha | 100% |
| 小計 | | 19,401 ha | 214 ha | 1% | 211 ha | 99% |
| 上越 | 上越市 | 15,200 ha | 298 ha | 2% | 264 ha | 89% |
| 小計 | | 15,200 ha | 298 ha | 2% | 264 ha | 89% |
| 計 | | 39,758 ha | 2,315 ha | 6% | 1,872 ha | 81% |



パイプライン漏水状況



パイプライン通水試験の様子



新潟県中越沖地震の被災による 農業集落排水施設の復旧状況

農業集落排水施設の復旧状況

農業集落排水施設の被害は、柏崎市を中心に、長岡市や上越市など広い範囲で、配水管や処理施設が被災を受けています。

集落排水施設は、農村の生活基盤として重要な施設であるため、地震後早期に、新潟県土地改良事業団体連合会や地域資源循環技術センターなどの協力を得て調査・復旧を行っており、着実に復旧に向かっていきます。



圧送管仮設

農業集落排水施設の復旧状況

8月1日 17時現在

| 地域機関 | 市町村名 | 行政人口 ① | 農業集落排水被災地区 | 被災地区 供用人口 (H18末) ② | 農業集落排水の割合 ②/① | 復旧状況 (仮復旧含む) | 復旧済み人口 ③ | 復旧率 |
|---------|------|-----------|------------|-----------------------------|------------------|-----------------|-------------|------|
| | | | | | | | | ③/② |
| 長岡地域振興局 | 長岡市 | 281,805人 | 2地区 | 1,324人 | 0.5% | ○ | 1,324人 | 100% |
| | 小千谷市 | 40,071人 | 7地区 | 4,567人 | 11.4% | ○ | 4,567人 | 100% |
| | 川口町 | 281,805人 | 1地区 | 677人 | 0.2% | ○ | 677人 | 100% |
| | 出雲崎町 | 5,410人 | 3地区 | 1,561人 | 28.9% | ○ | 1,561人 | 100% |
| 柏崎地域振興局 | 柏崎市 | 93,638人 | 19地区 | 16,335人 | 17.4% | ○ | 16,335人 | 100% |
| | 刈羽村 | 5,000人 | 2地区 | 1,294人 | 25.9% | ○ | 1,294人 | 100% |
| 上越地域振興局 | 上越市 | 208,223人 | 11地区 | 6,239人 | 3.0% | ○ | 6,239人 | 100% |
| 合計 | | 915,952人 | 45地区 | 31,997人 | 3.5% | | 31,997人 | 100% |



破損した圧送管を復旧

【関係職員並びに被災者の皆様へ】

中越沖地震で被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、農地部所管の農地・農業用施設でも大きな被害を受けており、用水を大量に必要とする出穂期を迎え、用水源である被災したため池や取水施設の復旧を急がねばならない状況です。

この間、被災地以外の振興局からの応援に加え、NPO水土里支援センター、水土里ネットワーク新潟（県土連）からの多くの応援により、被害調査を行ってきました。また、国や農村工学研究所から専門家によるダムやため池、地すべり箇所調査、復旧工法の助言をいただき、応急処置や災害査定に向けての準備を進めているところです。

3年前の中越大震災の経験を活かし、市町村、土地改良区、また国、県が連携して、一刻も早い復旧に努め、実りの秋、そして来春の田植えを迎えたいと考えています。

つきましては、引き続き職員各位のご支援、ご協力をお願い致します。

なお、復旧にあたっている職員の中には、被災された方、災害復旧支援により疲労が蓄積している方もおられることと思っておりますので、交替制、柔軟な勤務体制等を活用して、体調に十分注意して対応頂きたいと考えております。

不備な点、課題等がありましたら、遠慮なくご相談下さい。

平成19年8月2日
農地部長 小林厚司

調整室だよ

7月16日海の日の休日、午前10時13分頃この地震は発生しました。震源は新潟県上中越沖。長岡市小国町、柏崎市西山町、刈羽村などで震度6強を観測し、電気、ガス水道などのライフラインや各交通機関が寸断されました。また、柏崎刈羽原子力発電所にも大きな被害の爪痕を残し、国内外の風評被害により、新潟県の農林水産業、観光産業なども大きな影響を受けています。

県では地震発生直後、災害対策本部が設置され、農地部でも続々と職員が登庁。テレビやラジオで報道される被災地の状況を随時確認しながら、被災状況調査など応援の臨戦態勢を整えました。

今回の災害応援にあたり、3年前の中越大震災での経験を踏まえて、各地域振興局から助言や要望を頂きました。今回の対応においては、過去の経験を教訓として、出来る限りの体制で臨んでいく所存です。皆様からの貴重なご意見、大変ありがとうございました。被災地の1日も早い復旧・復興を目指して、農地部一丸となって頑張っていきます。

負けるもんか！新潟

担当：農地管理課総合調整室 事業調整担当

TEL 025-285-5511（内線3088） FAX 025-285-3787

えちご田園通信 <http://www.pref.niigata.jp/nochi/denen/>